



## あれこれ

## ■令和6年度 女性委員会事業計画

|                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 2024.4.6(土)        | 県 女性委員会(女性委員長)会議           |
| 2024.4.14(土)       | 第1回東北ブロック女性委員長会議           |
| 2024.5.24(金)       | 令和5年度 第3回理事会               |
| 2024.6.7(金)        | 山形県建築士会 第73回通常総会、第1回理事会    |
| 2024.7.10(水)       | 合同委員会                      |
| 2024.8月            | 女性委員会広報誌「あれこれ」1号発行         |
| 2024.7.14(日)・15(月) | 第32回全国女性建築士連絡協議会           |
| 2024.10.5(土)・6(日)  | 東北ブロック会女性委員会見学会 IN あきた     |
| 2024.10.25(金)26(土) | 第66回建築士全国大会鹿児島大会           |
| 2024.11月           | 女性委員会広報誌「あれこれ」2号発行         |
| 2024.11月           | 第35回山形県建築士会青年大会            |
| 2024.12月           | 令和6年度山形県森林技術職員等技術研修(森林利活用) |
| 2025.1月            | 第3回東北ブロック女性委員長会議           |
| 2025.2月            | 女性委員会広報誌「あれこれ」3号発行         |
| 2025.2月            | 県内高校建築設計デザインコンクール審査会       |
| 2025.3月            | 第14回東北ブロック青年大会あきた大会        |
| 2024.4月～2025.3月    | 第32回全国女性建築士連絡協議会山形大会準備会議   |

## ■令和6・7年度 各支部役員紹介

| ブロック | 担当常務理事 | 支部名  | 役員名     |       |
|------|--------|------|---------|-------|
| 1    | 酒田     | 鶴岡田川 | 佐藤 江理子  |       |
| 1    | 米沢     | 米沢   | 齋藤 美恵   |       |
| 2    | 長井     | 長井   | 村山 紀子   | ○委員長  |
| 2    | 山形     | 山形   | 小笠原 華奈子 | ○会計   |
| 2    | 山形     | 山形   | 原田 江美子  |       |
| 3    | 天童     | 天童   | 笹 玲央奈   |       |
| 3    | 西村山    | 西村山  | 奥山 麗子   |       |
| 3    | 村山     | 村山   | 草刈 めぐみ  |       |
| 3    | 新庄     | 新庄   | 奥山 恵美   | ○副委員長 |

## ■女性委員長あいさつ

今年度から女性委員会委員長になりました、米沢支部の村山紀子です。よろしくお願い致します。

来年開催されます「全国女性建築士連絡協議会 第34回 やまがた大会」

令和7年7月19日(土)、20日(日)山形テルサ会場に向け「全建女やまがた大会実行委員会」を令和6年4月より毎月一回集まり頑張っております。何せ初めての大役、山形の魅力の詰まった大会にするために切磋琢磨しております。山形県の女性委員会はもとより、他の委員会みなさまのお力添え、御協力、御支援、よろしくお願い致します。チーム山形頑張ります！



## ■令和6年度 県本部合同委員会の報告

7月10日、合同委員会が山形市の協同の杜JA研修所にて開催され、今年度の女性委員会の事業計画について話し合いました。

## 1. 女性建築士の育成と会員増強について

女性委員会主催の見学会・研修会への参加を呼びかけ、活動の広報と周知を進め、建築士会への入会を促していきます。また、賛助会員企業等団体で活躍している女性への案内を積極的に進めます。

## 2. 研修会見学会の実施について

令和7年度開催の全国女性建築士連絡協議会(全建女)山形大会のエクスカージョンの下見、見学会を実行委員会で検討中です。

## 3. 広報誌『あれこれ』の刊行について

今年度は鶴岡田川支部が担当し年3回発行の予定です。全国女性建築士連絡協議会(全建女)、東北ブロック大会、見学会、全国大会参加記事を掲載するほか、各支部独自の活動も記事にまとめる予定です。

## 4. 全国及び東北ブロックの女性建築士との交流及び情報交換について

- ・全国女性建築士連絡協議会7月14日・15日東京会場12名、WEB6名、計18名参加しました。
- ・東北ブロック会見学会INあきた10月5日・6日開催予定です。
- ・全国大会鹿児島大会10月25日・26日10名参加予定です。

## 5. 令和7年度(2025年)第34全国女性建築士連絡協議会 山形大会の開催準備について

- ・日程:令和7年7月19日・20日
- ・会場:大会山形テルサ、懇親会メトロポリタン山形
- ・大会テーマ:「山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦」～雪・山・川がおりなす食文化と共に～
- ・山形支部原田江美子実行委員長を中心に実行委員会を発足し月1回会議を開催し、講演やエクスカージョン、懇親会など準備を進めています。

## 6. その他

今春、新庄市に開学した東北農林専門職大学は農業と森林業の経営について学ぶ全国でも珍しい大学。建築と森林を絡めた見学会・研修会などを企画してはどうか。

## 令和6年度第33回全国女性建築士連絡協議会の報告

未来へつなぐ「まち・ひと・建築」～インクルーシブな社会を目指して～ 鶴岡田川支部 斎藤 美恵

令和6年7月14、15日の2日間に渡り、第31全国女性建築士連絡協議会が東京日本建築学会建築会館にて開催されました。今年も会場とWEB双方でのハイブリッド開催となり、本県から東京会場12名、WEB6名、計18名が参加しました。

1日目の全体会では開会式に続き石川県、富山県、福井県、新潟県の被災地報告、岡山県の活動報告、基調講演と交流会が行われました。

被災地報告では各県の被災状況と応急危険度判定の活動などについての報告をお聞きしました。

情報を共有すること、建築士として必要な活動や役割についての大切さに気付かされました。

また活動報告では岡山県より西日本豪雨災害から6年が経過した現在の状況や防災減災活動についての報告をお聞きしました。防災減災活動にはさまざまなコミュニティとの繋がりをもつことが大事だと感じました。

基調講演はTOTO株式会社真島香氏より「一人でも多くの人に使いやすいパブリックトイレを目指して」、株式会社日建設計畑島楓氏より「インクルーシブな社会を目指して～トイレから誰もが使いやすい建築を考える～」というテーマで高齢化や多様化する現代において誰もが安心して使える快適なトイレについてご講演いただきました。

2日目の分科会では「来年は山形県開催！魅力ある和の空間ガイドブックpart6」「インテリアと暮らしの視点から考える室内防災対策JOL防災」「民家の土塀修復・保存の取り組み」「変えていく！建築士会～バージョンアップへの道～」「すまい学習をサポートします あれから～続・兵庫県建築士会住教育支援チームの取り組み～」「女性部会情報誌フフと女性部会の今後について」「未来につなぐ環境建築への取り組み～地方の建築技術者が出来ること～」の7つのテーマのもとに報告と討論が交されました。全体会ではそれらの成果として、以下の点を今年のアピールとして発表し、発信していくこととしました。

1. 私たちは、今回の協議会を通し、建築士として、また、生活者としての視点から建築を見直し、すべての人にやさしいまちづくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、建築士として、だれにでも使いやすい建築とは何かを学び、快適な空間づくりに取り組んでまいります。
3. 私たちは、災害報告等を通し、建築士として、被災者に寄り添う心を忘れずに、災害発生時にできることや復興支援のあり方を模索し、継続した支援活動に取り組んでまいります。
4. 私たちは、様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を活かし、安心安全な社会の実現のために日々研鑽してまいります。

全体会の最後には、来年開催の全建女山形大会の案内を山形ものがたり動画と共にミニ花笠を持って行いました。会場の皆さんに花笠せんべいをお配りし、PR大成功でした！



この度の基調講演はトイレがテーマでした。TOTO(株)真島香さん講演の「一人でも多くの人に使いやすいパブリックトイレを目指して」、(株)日建設計畑島楓さん講演の「インクルーシブな社会を目指して-トイレから誰もが使いやすい建築を考える-」の2部構成でした。

第1部の真島さんのメーカーサイドの調査に基づく様々なトイレの紹介はとても興味深いものでした。障がい者のトイレとひとくくりでの提案ではなく障がい者の性別、介助者・同伴者が必要かなど建築設計士としての基本的な配慮が必要と感じました。

第2部の畑島さんの講演を聞いてトイレは、用を足すだけの空間ではないと気づかされました。化粧をちょっと直すとか髪を整えるスペースは取り入れた経験がありますが、トイレでゆっくりとくつろぐ、リフレッシュするまでの考えには至りませんでした。今後はお二方の講演を参考にしてトイレを提案していきたいと思います。



■A分科会の報告

来年は山形県開催！「魅力ある和の空間ガイドブック」part6

鶴岡田川支部 斎藤 美恵

連合会女性委員会では『和の空間』をテーマに「魅力ある和の空間ガイドブック(WEB版)」を制作しHPにて公開し、過去5回に渡りセッションや分科会で掲載施設を紹介してきました。

今回は来年の全建女開催地である本県を取り上げることになり、コメンテーターを天童支部の三浦仁恵さん、酒田支部の古川美紀さんに努めていただきました。

ガイドブックに掲載されている施設のなかから歴史的価値のある「清風荘-宝紅庵」(山形市)「料亭四山楼」(山形市)「上杉伯爵邸」(米沢市)「公益財団法人本間美術館清遠閣・鶴舞園」(酒田市)の4施設を紹介していただきました。

また本県は世界有数の豪雪地帯であり、出羽三山や最上川をはじめ雄大な自然に恵まれていること、日本海側は北前船が行き交う要衝の地であったこと、果物・米・魚・肉・日本酒などの美食、美酒と温泉、歴史、文化、多様な観光資源の宝庫であることなど本県の魅力を存分に紹介していただきました。

コメンテーターのお二人にはお忙しいなか準備を進めていただき感謝いたします。



A分科会の様子（会場の椅子は天童木工製！）



コメンテーターの三浦さん・古川さん



■B分科会の報告

インテリアと暮らしの視点から考える室内防災対策「JOL防災」

山形支部 鈴木 有希

安全安心であり美観にも優れたインテリア空間を誰もが楽しめる社会の実現に向けて、室内の防災対策である家具転倒防止・家具固定策に関する様々な活動、事例を紹介して頂きました。Joy of Living=暮らしを楽しむ、住まう喜びを追求する事をコンセプトにJOL(ジョル)防災として提唱しているとの事。

地震時、室内家具などの転倒により怪我をしたり、非難や救出が遅れたりするという事があり、固定対策の大切さを知ることができました。

事例紹介としては、暮らしの中で欠く事ができない行動パターンである、集[リビング]眠[寝室]働[キッチン]の家具の配置、スムーズな動線、固定方法の紹介を聞きました。

突っ張り棒での固定などはよく聞きますが、それでは大きな地震時には外れてしまうとの事です。

住まい創りの段階から、家具レイアウトや動線計画などを考え、必要な下地補強を施していく事が、室内の防災対策推進、素敵な空間への両立にもつながると感じました。



## ■C分科会の報告

「民家の土塀修復・保存の取り組み」に参加して

西村山支部 奥山 麗子

香川県建築士会の吉井千恵子さんをコメンテーターに迎え、ご自身の実家にある土塀修復の経緯や改修の具体的な内容をお聞きました。

修復きっかけは、老朽化の進んだ古い土塀を解体する目的で調査を始めたところから始まりました。土塀が作られた工程や、歴史的な背景を知るにつれて、周囲の後押しもあり保存へと方向転換することになります。立地は、香川県西部、丸亀市菟川の近くにあり稲作などが行われた地域でした。川が氾濫する地点は豊かな暮らしの始まる地点であるという言葉が印象的で、古地図や地域の歴史を紐解くことで、川の出水などを監視する役目として、土塀がこの形状で成り立っている意味が分かるとのことでした。

修復のメンバーには建築士だけでなく、学芸員、修復の経験のある左官職人、一般の方々など様々な分野の方々も関わっていることが、修復の力となっていると思いました。

構造体は、版築工法で木製の型枠を用いて土と玉石が交互に三層に積み上げられた構成となっており、全長21.26m、高さ1.97mにも及んでいます。補修の工程は、劣化の進んだ表面の土をケレン棒で削りとり、合板とブルーシートで作成したプールに一時保管します。土塀を洗浄したのちに石を積み直したり、竹釘を刺してシュロ縄で亀裂予防の下地を網目状に配置した後、ようやく土を下塗りしていきます。下塗り、中塗り、仕上げに使う土は、当初はつりとった土に藁を混ぜ込み、粘性や密着性、施工性を高めるため3ヶ月醗酵させたものを使うのが良いとのこと。

2019年の事前調査から始まり、下塗り、天端の瓦を載せるところまで2024年現在は仕上がっており、完成までは今度1年程度かかるそうです。ワークショップなどのボランティアや有志の手による6年がかりのプロジェクトとなっており、吉井さんは「自分1人ではできなかった」と、協力してくださった方々への感謝の思いを語っていました。

私自身、土蔵改修や土塀修繕など経験不足な分野でもあり知識を深めるいい機会となりました。衰退する傾向にある左官技術の伝承や、忘れられつつある地域の暮らしにまつわる、歴史の痕跡を体験型の活動を通して伝えていく、学びのあるプログラムでした。

## ■F分科会の報告

「女性部会情報誌「フフ」と女性部会の今後について」に参加して

鶴岡田川支部 鈴木 小枝

岡山県の女性部による情報誌の発行経緯と内容についての発表がありました。1995年、女性の社会的地位が低いと感じられる時代から30年の活動の発表でした。また次世代の女性建集団の在り方について①女性ならではの？②区別は必要？の二点についてグループディスカッションが行われました。

鹿児島大会のPRで参加されていた父子からの意見も聞くことができました。

①「女性は宝です」（男性）「女性だからと女性が決めつけているのでは？」「女性は全体を見渡せるオールラウンダー」「情報をひとつに絞れないから話が脱線する」等々。

②基調講演の内容に反して「トイレは分けたい」「風呂も分けたい」「男性女性と分けて気にすることはない」（中一男子）「男女参画委員会となっている県もある」「分けずに選べるのが大事」「男女平等というワードを意識することがない世代」等々。

女性ならではの言葉にしばられているのは自分たちなのでは？と多様性社会の中でこれからの女性部会の在り方を考えさせられた分科会でした。



あれこれ投稿記事募集！  
各支部等でご紹介したい活動がありましたら各支部の女性委員までご連絡ください。

山形県建築士会女性部委員会では入会者募集中！

お問合せ：山形県建築士会

TEL：023-643-4568

<http://www.yamagata-ken.org>